

コスモ石油(株)堺製油所高度化事業に係る  
**事後調査報告書**

平成 21 年 10 月分  
コスモ石油株式会社

1. 事業者の氏名及び住所

事業者の名称 : コスモ石油株式会社  
 代表者の氏名 : 代表取締役社長 木村 彌一  
 主たる事務所の所在地 : 東京都港区芝浦一丁目1番1号

2. 対象事業の名称

コスモ石油株式会社堺製油所高度化事業

3. 対象事業の実施状況

3-1. 調査実施日

平成21年10月1日～平成21年10月31日

3-2. 調査時の工事の状況

平成21年10月は、土木工事が上旬で終了し、本体工事は継続実施した。

工事内容	平成21年10月		
	上旬	中旬	下旬
土木工事			
測量	■		
掘削	■		
基礎工	■		
本体工事			
機器の搬入・据付	■	■	■
架構及び配管敷設	■	■	■
電気・計装	■	■	■
塗装・保温・耐火	■	■	■

4. 事後調査の方法

4-1. 調査内容

事後調査の調査項目、調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法は、表-1に示すとおりである。

表-1 工事中における事後調査内容

調査項目		調査地点	調査期間及び頻度	調査方法
水質	浮遊物質	各仮設凝集沈殿処理設備、各仮設沈殿槽、No.1排水口及びNo.2排水口	【期間】 土木工事期間中 【頻度】 工事中適宜	事前に濁度と浮遊物質の相関関係を確認し、濁度計にて測定
廃棄物	発生量 有効利用量 最終処分量 有効利用方法	-	【期間】 工事期間中 【頻度】 工事中適宜	工事関係者が記入した調査票等から、産業廃棄物の種類毎の発生量、有効利用量、最終処分量、有効利用方法を集計する方法
発生土	発生土量 利用土量 所外搬出量	-	【期間】 工事期間中 【頻度】 工事中適宜	工事関係者の日報等により、残土輸送車の台数から搬出量を集計する方法
陸域生態系	シオクグ生育状況	移植地	【期間】 工事開始～3年間 【頻度】 年3回(5,6,8月)	葉の量・色つや・枯れの有無・開花・結実の状況を目視(写真)で確認

## 5．事後調査の結果及び検証

### 5-1．水質・・・浮遊物質量

10月の工事排水中の浮遊物質量を調査した。仮設凝集沈殿処理設備等の設置場所は図-1に示すとおりである。

調査結果は、別紙1に示すとおりである。浮遊物質量の測定値は、計画値を満足するものであった。

なお、土木工事は10月上旬に終了し、土木工事に伴う工事排水は終了した。

### 5-2．廃棄物・発生土・・・発生量等

平成21年度分については、年報（平成22年6月予定）にて報告する。

### 5-3．陸域生態系・・・シオクグ生育状況

10月度は調査なし。次回は平成22年5月度に調査予定。

以上

仮設凝集沈殿処理設備等  
 平成20/10/18 排水終了  
 平成21/7/6 排水終了  
 平成21/6/23 排水終了  
 平成21/10/3 排水終了  
 平成21/5/8 排水終了  
 平成21/2/6 排水終了  
 平成21/4/14 排水終了  
 平成21/6/20 排水終了  
 平成21/3/7 排水終了  
 平成21/4/23 排水終了

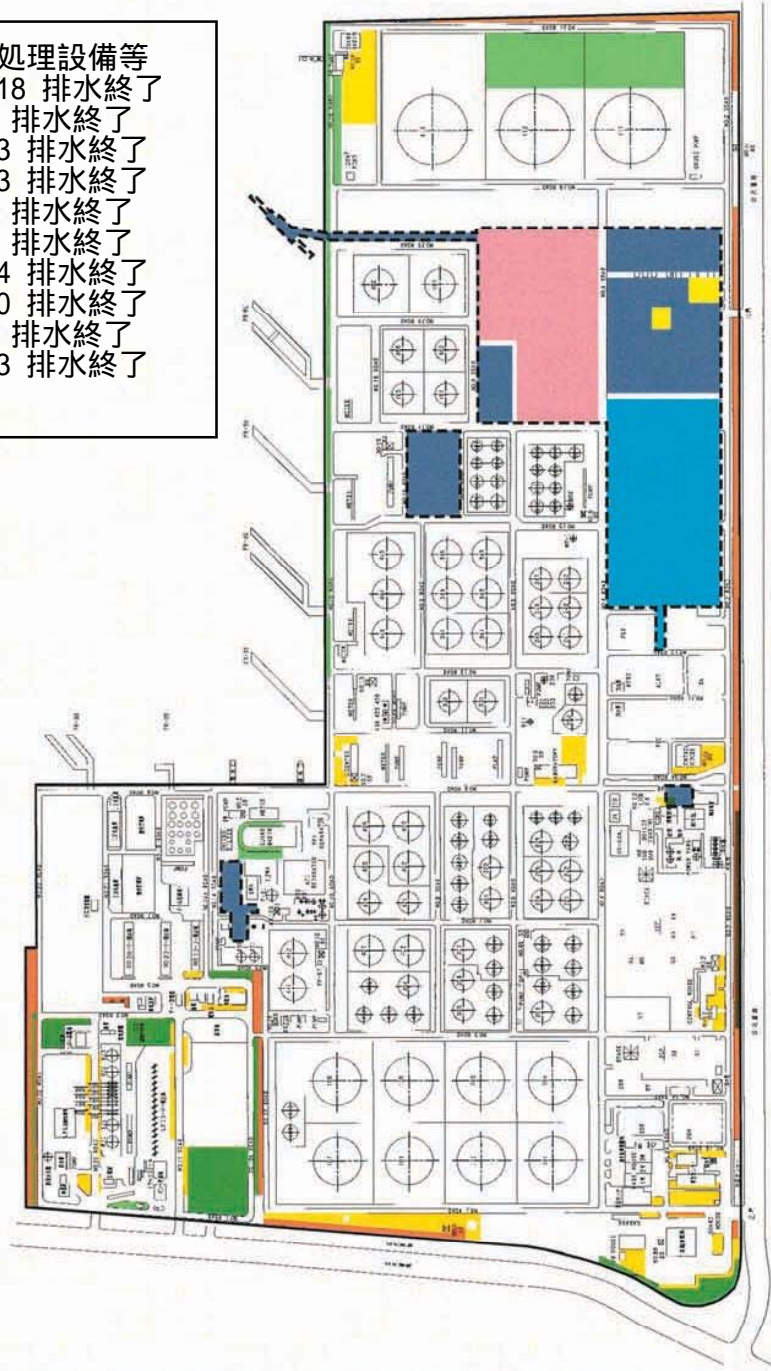


図-1. 仮設凝集沈殿処理設備等の設置場所（工事中）

凡 例

- |                 |           |          |
|-----------------|-----------|----------|
| 対象事業計画地         | 新設装置設置エリア |          |
| 重質油分解装置群エリア     | 緑地（既設）    | 緑地（新設）   |
| 石油化学用原料製造装置群エリア | 樹林地       | 樹林地      |
| 発電設備エリア         | 低木及び地被植物  | 低木及び地被植物 |
| 付帯設備エリア         |           |          |

